静岡県部活動ミーティング 2018　報告

日　時：平成 30 年 12 月 12 日（水）　午後１時から２時 30 分
会　場：静岡市民文化会館　第一会議室
主　催：静岡県教育委員会　静岡県高等学校体育連盟
参加校：韮山高等学校　伊豆中央高等学校　三島南高等学校　三島北高等学校
沼津東高等学校　吉原工業高等学校　富士高等学校　富士東高等学校
清水東高等学校　駿河総合高等学校　焼津水産高等学校　藤枝東高等学校
（第 19 回静岡県高等学校新体力テスト表彰式参加校代表者　高校生 22 名）
ファシリテーター：県教育委員会健康体育課２名　県総合教育センター高等学校支援課２名
プログラム：
（１）開会挨拶　静岡県教育委員会健康体育課
（２）内容説明
（３）ワークショップ　「部活動の取組の現状とその効果や問題点」
「これからの私たちの部活動」
（４）成果発表　各班の発表
（５）閉会

〇ワークショップ

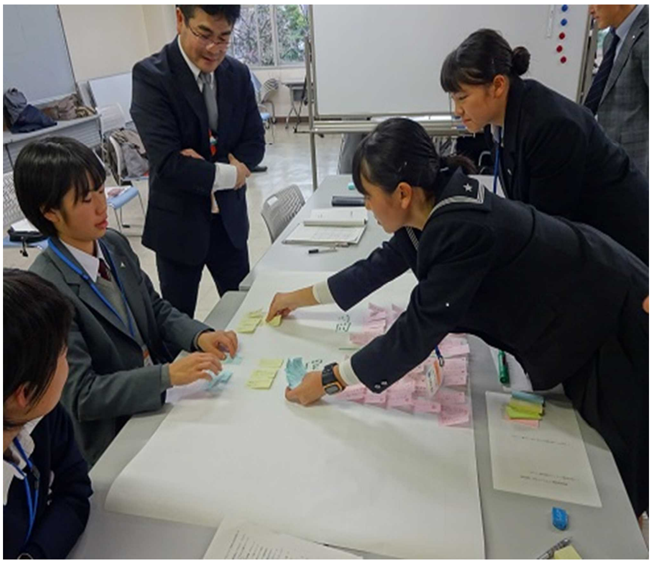
男子 11 名、女子 11 名の合計 22 名を各班５～６人の４班に分けて実施しました（男子２班、女子２班)。参加生徒の部活動は野球・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・ソフトボール・サッカー・テニス・陸上競技・ボートと様々で、マネージャーをしている女子生徒も見られました。学年は２年生が 16 名、３年生が６名でした。

部活動ミーティングの目的は、生徒が互いに情報交換を行い、主体的に課題を共有し、自主的自発的な活動意識を持たせることです。ワークショップ形式で行うことで、限られた時間の中で参加者全員が意見を出しやすく、作業的な部分があり、積極的にコミュニケーションを取ることができました。また、各班にファシリテーターを１名配置することで、初対面の生徒達が話し合いをしやすい状況を作ることができました。特に、開会前からファシリテーターが各班でコミュニケーションを取ってくれたおかげで、開会前から会場全体が和やかな雰囲気になり、ワークショップにスムーズに入ることができたと思われます。

全体の配置

作業説明（１班）

各班ごと、自己紹介を行った後、最初に自分たちの部活動の取組状況を話し合い、模造紙に付箋を貼っていく作業から入りました。次に、良い点・悪い点や目標や成果など、話し合いや付箋への書き込みから出てきたものを基に各班が特色ある模造紙を作成していました。



付箋のグルーピング（４班）

付箋のグルーピング（２班）

次に、グループ分けした付箋を基に「これからの私たち部活動」というテーマに沿って、まとめに入りました。各班で、ひとつの標語を作っていきました。この時には、お互いの意見を熱く語る姿も見られ、１時間前に初めて顔を合わせた者同士とは思えないぐらい、積極的に取り組んでいました。

標語の検討（３班）

標語の検討（２班）

〇成果発表

　完成した模造紙を披露しながら、各班がどのようなことを話し合い、どのような意見が出て、どのような標語を作成したかを発表しました。

＜１班＞　**自分たちの課題を明確にし、意志統一をして取り組む**
　　　　　「やるべきときに、やるべきことを。」

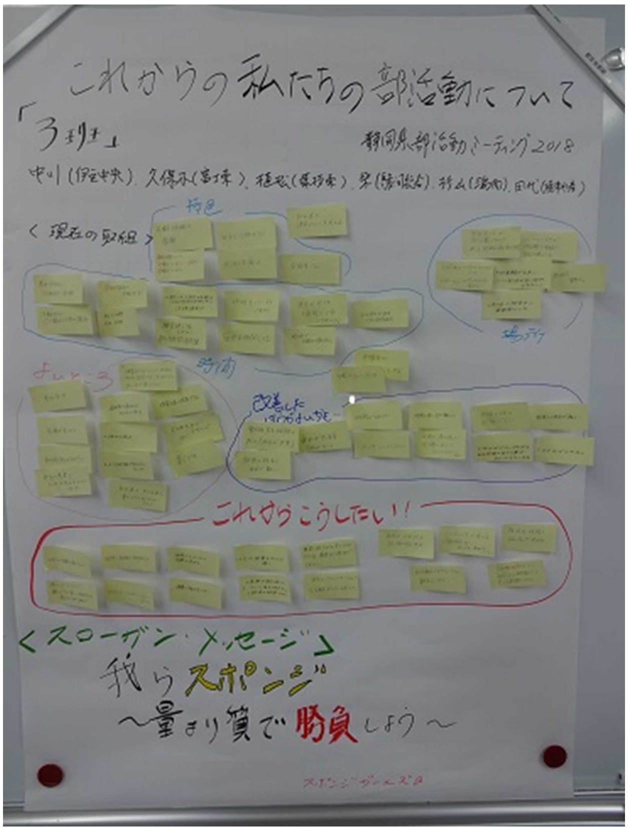
　勉強との両立、疲労・ストレス、選手間の温度差の観点から話を展開し、改善点を話し合いました。

＜２班＞　**意識改革**
　　　　　～自分たち部活動が学校を引っ張る～

　今、抱える悩みや問題点・課題点から解決のための自主的・自発的な具体的な行動を探っていきました。

＜３班＞　**我らスポンジ**
～量より質で勝負しよう～

今の自分たちの部活動の取組から、改善点を探り、今後、このようにしていきたいというテーマを中心に話し合いました。



＜４班＞　**～みんなでつくる　みんなの笑顔～**
自己を制する者は　部活を制する

自分たちの部活動の現状を、時間的側面と環境的側面から良い点や悪い点を取り上げ、そこから、これからするべきことを話し合いました。

〇参加生徒の感想

・今回、多くの高校生と色々な意見を交換して、他校の良い所などを聞き、自分たちにも取り入れられることは取り入れていきたいと思いました。

・自分の部活動の利点、改善点を振りかえるだけでなく、他校の意見を聞くことで、これから部活動に励んでいく上で、とても参考になりました。

・他校の違う競技の部活の生徒たちと話し合うことで、現状を見直すことができました。改めて、自分たちの状況を確認することで、「今、自分たちが何をすべきか」を考え直すきっかけにもなり、とても有意義な時間になりました。

・他校の部活動の現状は学校によって、結構違いがあり、部活動のそれぞれの事情があり、色々な部活動の形があるなと思いました。

・普段、他校や他部活の生徒と関わる機会が無いのですが、貴重な場を作ってもらい、良い刺激をもらえて良かったです。

・初めて会って、うまく話せるか心配でしたが、自分の気持ちをしっかり伝えることができました。とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

・普段は全く交流の無い学校の生徒たちと、部活動について話し合うことができて、自分の学校にはあまり無い特色や取り組みを聞くことができ、色々な形で勉強や部活をそれぞれが頑張っているのだなと思いました。

・色々な学校の部活の様子を聞くことができていい機会でした。それぞれ悩みもおなじように抱えていることが分かり、少しでも改善に繋げられるようにしたいと思います。

・同じ問題でも、それぞれで考え方、やり方が違いました。部活動でも、やりたいこともあれば、勉強しなければいけないと思いました。悩みなどはどこも同じようなものであったので、他の人の意見がとても参考になりました。とても良い経験をしました。

・良い点や悪い点を出し合うことで、多くの改善策を出して、今後の部活動に活かせる良い機会になりました。

・今までは、自分たちの部活動あるいは学校内での部活動の雰囲気にしか触れていませんでしたが、他校の少し違った雰囲気を肌で触れ、良い機会になりました。

・普段なかなか考えないところまで考え、話し合うことができました。他校との交流もとても新鮮で、良い刺激になりました。このミーティングを継続してやっていくと良いと思います。

〇まとめ

今回の部活動ミーティングのねらいは、部活動の主役である生徒たちがお互いの部活動の取組状況を情報交換しながら、自ら考えることで自主的・自発的な取組を促していくことです。

初めての開催でしたが、初対面の生徒たちが話し合いをできるか、また、約１時間という短い時間の中で、どこまで内容の濃いものになるかなどの不安な面もありました。しかし、参加した生徒たちが積極的に取り組み、各班とも予想以上の成果をあげてくれたと思います。生徒の感想にもあるように、他校の生徒と意見を交換する機会というのは、非常に貴重な経験であったと答える生徒も多くありました。また、他の競技種目の部活動の生徒と話し合う機会が新鮮であり、部活動ミーティングが有意義なものになった一つの要因であると思われます。

今回は４つのグループに分けて、ワークショップを行うにあたり、それぞれの班にファシリテーター（県教育委員会担当）を配置しました。ファシリテーターからは、今回の感想として「自ら司会に立候補するなど、生徒が主体的に活発な意見交換がされた。」「他校間で意見交換がされなければ分からないことが多く、生徒同士は新鮮で有意義だったと思う。」「男女別のグループ分けにより、スムーズに話し合いに入ることができた。」「時間がもう少しあれば、さらに充実したものになった。」また、課題としては、「学校や競技種目によって、抱える課題は異なるため、これからの各自の部活動にどう活かしていくか」「各学校の部活動間で課題解決に向けて話し合ってもらうことが必要」などが挙げられました。

今後は、運動部活動の生徒だけでなく、生徒会等の生徒も交え、色々な立ち位置の生徒から様々な意見を聞き、多くの生徒が部活動に対して主体的に考え、自発的な活動意識を啓発できるようにしていきたいと考えています。

最後に、今回、生徒を派遣していただいた学校と協力してくれた生徒に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。